

AICHI STEEL



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



証券コード：5482

AICHI STEEL

愛知製鋼株式会社

株主・投資家のみなさまへ

第114期 中間報告書

(2017年4月1日から2017年9月30日まで)



ハガネがつくる 未来をつくる。



もっと“いい会社” になろう。

取締役社長

藤岡 高 広

経営理念

国際的視野にたち、活力に溢れ、信頼される企業体質をもとに、
魅力ある商品を提供することによって社会に貢献する。

1. 研究と創造につとめ、常に時流に先んずる。
2. 相互の信頼と理解のもとに、一致協力する。
3. 責任ある判断と行動のもとに、常に最善を尽くす。

Q1 「もっといい会社」とはどのような会社でしょうか。

私は当社が目指すべき「もっといい会社」を、以下のように考え、「New AICHI STEEL」の取り組みを行っています。

■ 私たちの生産する素材で、 お客様の「いいモノづくり」に貢献できている

当社は、創業者 豊田喜一郎の、「よきクルマは、よきハガネから」という当時の思いを進化させ、「よき社会は、よき素材から」の理念のもと、また、お客様に「愛知製鋼の製品を使っていれば世界中で安心・安全」であると「世界中で選ばれる会社」となることを目指しています。高品質かつ競争力があるだけでなく、社会のニーズや課題を満たす商品の提供ができるようグローバルでのモノづくり力の強化を図っています。

■ 社員一人ひとりが自分がやるんだという意識で チャレンジしている。

会社を本気で変えるためには、社員一人ひとりが当事者意識を持って取り組まなければなりません。「I Will ～当事者意識～：仕事に燃える集団づくり」をスローガンに掲げ、
①答えはいつも現場にある、という「現地・現物」
②物事は本来こうあるべきだ、という「原理・原則」
③良識ある道徳心のもと、お互いを尊重し、自ら考えてやってみよう、という「I Will 相互信頼」
これらをあらためて「Aichi Way」として意識づけ、モノづくり力を年輪のように積み重ね改革をやり遂げます。

■ 人がイキイキ、ワクワクと働けて、 職場に笑顔が溢れている

エコと業務効率・創造性の向上の両立をコンセプトとした新本館での執務を本年より開始し、これを起点とした働き方改革を進めています。さらに、TVCM放映などの広報活動によりブランド力とモチベーションの向上を進めており、社員が「愛知製鋼で働いてよかった」と自分たちの会社に誇りを持つことにより、働く意欲も向上し、「もっといい製品づくり」にも繋がるものと思います。

■ 「いつまでもこの地にあり続けて欲しい」と 地域から思われている

「良き企業市民」として、地域懇談会の開催、地域行事への支援と積極的参加や、地元社会福祉法人などへの寄付などを通じた、地域とのコミュニケーションを大切にしています。地域社会から信頼と事業活動への理解を得ていくことで、地域コミュニティとの共存共栄を目指しています。

2 当上半期の業績と通期の見通しはいかがですか？

当上半期の市場環境と業績

当上半期の経済状況としては、政府や日銀の各種政策により、全体として緩やかに回復してきましたが、北朝鮮での緊張など、アジアの地政学的リスクが増大しており、当社グループを取り巻く環境は、依然として不透明な状況が続いています。

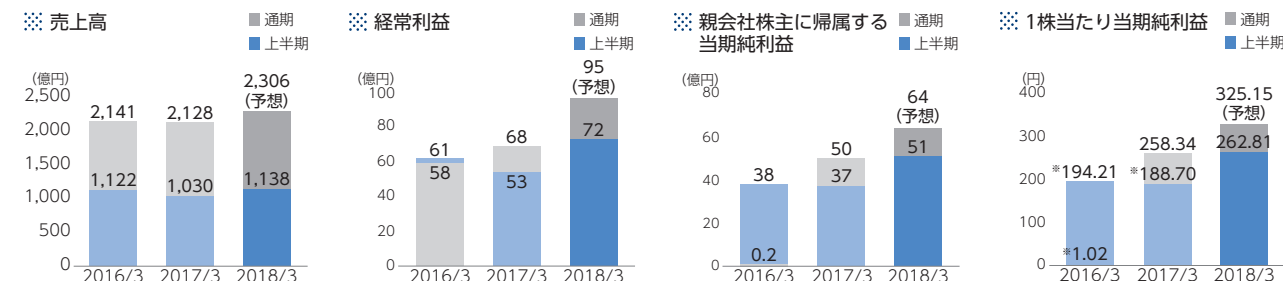
このような状況ですが、当上半期は**増収・増益**となりました。売上高は、前年同期に比べ10.5%増の1,138億2千2百万円となりました。営業利益につきましては、前年同期に比べ21.5%増の70億4千5百万円、経常利益は34.7%増の72億6千8百万円となりました。これは原材料・エネルギー価格の上昇や経費の増加がありました。販売数量の増加や販売価格の値上がり、および前年同期に発生しました爆発事故による減益要因がなくなったことなどによります。親会社株主に帰属する四半期純利益については、39.3%増の51億7千2百万円となりました。

当期の見通しおよび業績予想

通期の業績予想については、売上高が前回公表値である2,237億円から、2,306億円に**上方修正**しています。営業利益は100億円、経常利益は95億円とし、前回公表値からの変動はありません。

なお、中間配当金は1株当たり50円とさせていただきました。通期では、期末配当金の50円を合わせて100円を予想しております。

業績ハイライト



※2016年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施しております。これに伴い、2016年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

3 今期の主な経営への取組みをご説明願います。

カンパニー制の導入

当社の主要顧客である自動車メーカーでは、自動車の軽量化、EV(電気自動車)やFCV(燃料電池車)へのシフトが進み、さらには欧州での2040年までにガソリン車の販売が禁止される動きなど、車一台あたりにおける当社主力製品である特殊鋼・鍛造品使用量の減少が将来的に見込まれます。このような激動する環境下でも成長を続けるためには、「**既存ビジネスの発想転換**」と「**新規ビジネスの事業化**」が必要であり、今まで以上のスピード経営と、抜本的な収益構造改革による一層の経営基盤強化が急務です。

製品を軸にした鋼(ハガネ)、鍛(キタエル)、スマートの3つのカンパニーを設置し、責任と権限を各プレジ

デントに集約することで、開発から販売まで一貫して**マネジメント**できるようにしました。また、国内外の子会社も製品軸でカンパニーに振り分け、グループと製品軸を有機的に連携させることで、**事業推進力と収益力の強化**を図りました。

事業についての最近の取組みを挙げると、「**鍛鋼一貫**」の強みを活かし、顧客の開発初期段階から積極的に入り込み、素材である「鋼」から、製品である「鍛造品」までのスルー提案を行うことで、**多くの製品が採用**されています。また、**自動運転システムの普及・確立**のため、当社の「MIセンサ」を利用した車体制御への実証実験を行うなどの**次世代事業**にも積極的に取り組んでいます。

各カンパニー別の取り扱い製品

カンパニー	売上高 (億円)	取り扱い製品	製品例
鋼 (ハガネ)カンパニー	528	特殊鋼条鋼 高圧水素用ステンレス	・構造用鋼 ・快削鋼 ・ばね鋼 ・ステンレス形鋼 ・ステンレス丸材など
鍛 (キタエル)カンパニー	523	CVTシャフト クランクシャフト	・クランクシャフト ・ディファレンシャルリングギア ・リヤアクスルシャフトなど
スマートカンパニー	71	電子コンパス パワーカード	・マグファイン® ・MIセンサ ・コールドプレート ・パワーカードなど

4 2020年度 中期経営計画を策定したねらいについて伺います。

当社を取り巻く環境の変化と計画策定の意義

当社の主要顧客である自動車メーカーが環境対応のため、クリーンなEV/FCV車へのシフトだけでなく、カーシェアリングなど自動車社会のあり方が変化することにより、自動車への特殊鋼・鍛造品需要の減少が予想されます。このような環境でも、当社が世界で「存在価値ある企業集団」であり続けるために、「2020年度中期経営計画」を策定し公表することで、ステークホルダーの皆様と将来像の共有を図り、揺るぎない経営基盤の確立に全社で取り組んでいきます。

中期経営計画に込めた思い

めざす姿として、「もっといい製品づくり」、「もっといい構えづくり」、「社員が幸せな会社づくり」とし、基本方針を、「1. 地域/地球環境保全、安心と安全で全てのステークホルダーに貢献」、「2. 多様なニーズに応える技術開発・市場開拓とモノづくりの進化」、「3. 絶えず環境変化に打ち克つ強く・しなやかな連結収益/財務

基盤」としました。

昨年の工場設備事故からの学びも踏まえて、これらを計画的に実行することで、モノづくり力と経営の「足腰」を年輪のように成長させ、収益の拡大に努めます。

来たるスマート社会に向けて

自動車のあり方の変化など、当社のビジネスモデルも大きな転換期を迎えています。これは新たなビジネスへの手がかりでもあり、高度経済成長期に建設された老朽化した橋やビルなどの建替えにはステンレスが、スマート社会の実現のためにはセンサと磁石が大きなビジネスチャンスとなります。更にはAIやビッグデータ、IoTといった技術革新も活用し、これまでにないモノづくりの発想を生み出します。お客様のニーズを常に先取りしながら、「安心・安全」が全てに優先するという企業風土のもと、中期経営計画を全社一丸で達成し、ステークホルダーの皆様のご期待に応え続けてまいります。

中期経営計画の概要

2020年度 経営目標

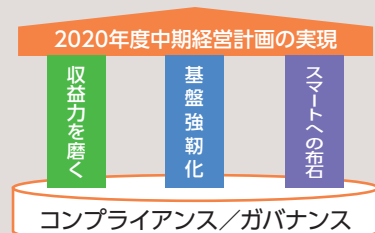
連結売上高 **2,500**億円

連結営業利益 **200**億円

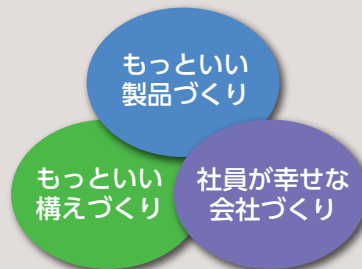
営業利益率 **8%**

位置づけと構図

事業基盤強化+新規創生

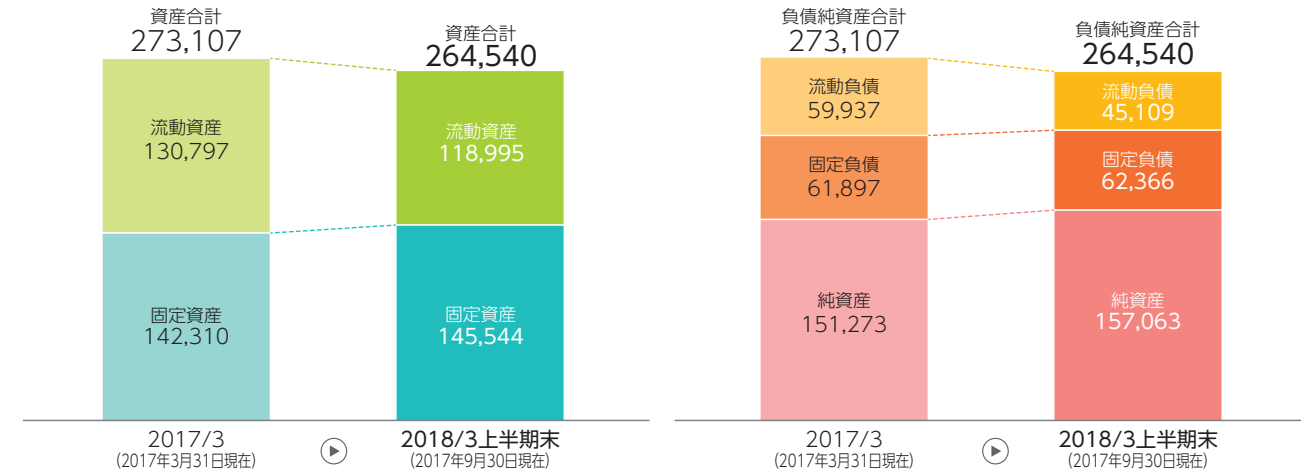


めざす姿



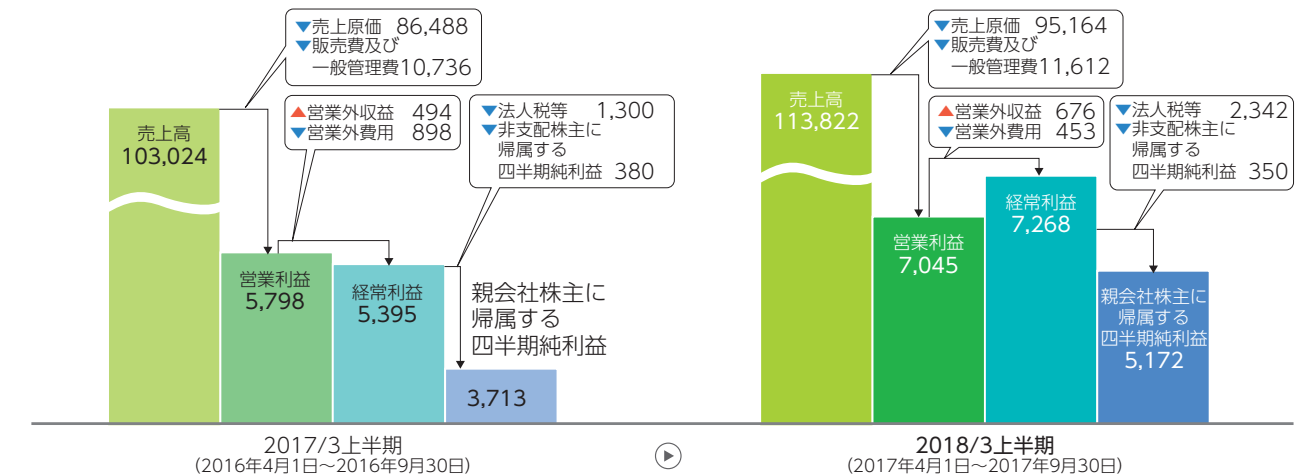
財務の状況

(単位: 百万円、未満切り捨て)



収益の状況

(単位: 百万円、未満切り捨て)



TOPICS

1 次世代自動車の鍛造品開発用にサーボ式プレスラインを竣工

次世代車の小型・軽量化、複雑形状に対応

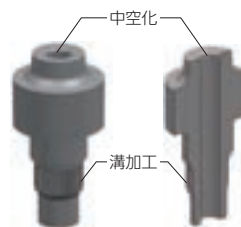
PHV、EVなどの次世代自動車部品の普及拡大に伴い、ユニット系部品として使われている鍛造品は、更なる小型・軽量化に加え、複数の部品機能を統合できる高機能化が求められています。サーボ式プレスは、複雑な形状に対応でき、より高精度で革新的な工法開発が可能です。

お客様と一体となった地球に優しいクルマ社会を実現

サーボ式プレスは、高精度であることに加え、IoT技術を用いてデータの記録・活用を行うことで開発期間の短縮が可能です。品質・精度・コスト競争力に優れた製品のタイムリーな提供により、環境に優しい社会に貢献していきます。



サーボ式プレスライン



複雑な形状も加工が可能に

TOPICS

2 中国鍛造子会社 上海愛知鍛造(SAFC)で5000トン全自動鍛造プレスラインを竣工、お客様から「2016年度 優秀サービス金賞」を受賞

生産能力が4割、生産性も約2倍向上

世界的な環境規制を背景に、エンジンの小型化・高出力化への要求が高まり、その基幹部品である中国のクランクシャフトにおいては、従来の鍛造品に比べ高強度化が可能な鍛造品への切り替え需要が見込まれています。クランクシャフトの需要拡大に向け、高品質かつ生産性に優れたラインを構築し、グローバル競争力と地球環境保全に貢献していきます。

グローバルで「もっといい製品づくり」

同社は、上海フォルクスワーゲンより「2016年度優秀サービス賞 金賞」を受賞しました。会社設立から今年で15周年を迎え、品質・サービス対応力向上や最新鋭設備の導入など、モノづくり力の向上を積み上げてきた成果であり、今後もグループ一丸で「もっといい製品づくり」を通じてお客様に貢献していきます。



SAFCのクランクシャフト用5000トン全自動鍛造プレスライン



対象となる約400社のうちから受賞

TOPICS

3 次世代自動車用放熱部品の生産能力倍増、2拠点生産体制を構築

次世代車の需要拡大に対応

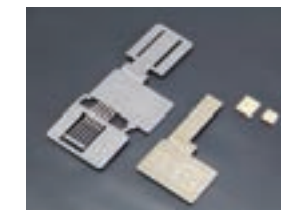
HVやPHV、FCV などの次世代車に不可欠なインバータ用放熱部品として搭載されている「パワーカードリードフレーム」について、需要拡大に対応すべく生産能力倍増を決定し、新たに岐阜工場で2018年10月から生産を開始します。

2拠点での生産による供給継続体制を確保

生産能力拡大に加え、知多工場・岐阜工場の2拠点で生産することで、地震や津波など災害時でもお客様に安定して供給できる体制を強固にしていきます。今後も、次世代を担う事業分野に積極的な投資を実施し、社会の変化やニーズへタイムリーに対応していきます。



新生産棟完成イメージ図



パワーカードリードフレーム

TOPICS

4 野球ボール回転解析システム「MAQ(マキュー)」をミズノ(株)と共同開発

MIセンサの高速応答と高感度を活用

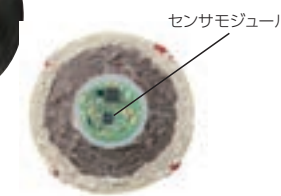
MIセンサを応用したミズノ(株)の新製品である「MAQ」には、共同で開発したセンサモジュールが内蔵されています。MIセンサにより、毎秒50回転に迫るプロ野球選手の球の回転数や速度を数値化でき、球種や球質の科学的な解析が可能となります。

MIセンサによる新たな価値創造

MIセンサは、その性能から様々な業種・用途への利用が見込まれています。当社は、次世代モビリティ・スマート社会に貢献する新用途分野への技術開発を積極的に推進し、MIセンサの応用により、新しい価値とより良い社会づくりの創造に貢献していきます。



「MAQ」データを処理し、Bluetooth無線でスマートフォンに分析結果を送信する



「MAQ」の断面図

会社の概況 (2017年9月30日現在)

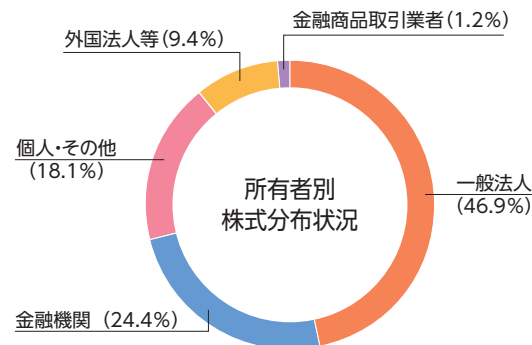
会社の概要

社名 愛知製鋼株式会社
 設立 1940年3月8日
 資本金 250億1千6百万円
 営業品目 鋼材、鍛造品、電磁品、その他
 本社 〒476-8666 愛知県東海市荒尾町ワノ割1番地
 TEL 052-604-1111 (代表)
 営業拠点 東京、大阪、福岡
 工場 知多工場/東海市(特殊鋼条鋼)
 刈谷工場/刈谷市(ステンレス形鋼)
 鍛造工場/東海市(鍛造品)
 東浦工場/東浦町(電磁品)
 岐阜工場/各務原市(電磁品)
 関工場/関市(電磁品)
 電子部品工場/東海市(電子部品)
 従業員数 (連結) 4,874名 (単独) 2,615名

株式の状況

発行可能株式総数 47,600,000株
 発行済株式の総数 19,886,675株
 株主数 10,267名

所有者別株式分布状況



役員

*取締役会長 岩瀬隆広 取締役 安井香一
 *取締役社長 藤岡高広 取締役 新居勇子
 *取締役副社長 鵜飼正男 常勤監査役 金床一郎
 *取締役副社長 浅野弘明 常勤監査役 後藤卓
 取締役常務執行役員 安永直弘 監査役 河野英雄
 取締役常務執行役員 小島勝憲 監査役 豊田鐵郎
 取締役常務執行役員 石神隆志 監査役 小平信因
 取締役常務執行役員 知野広明

(注) 1. *印は、代表取締役であります。
 2. 安井香一および新居勇子の両氏は社外取締役であります。
 3. 河野英雄、豊田鐵郎および小平信因の3氏は社外監査役であります。

上級執行役員 村上一郎 執行役員 坂本 定
 上級執行役員 山中敏幸 執行役員 鹿野 厚
 上級執行役員 古川正樹 執行役員 藤根 学
 上級執行役員 伊藤利男 執行役員 志藤康弘
 上級執行役員 野村一衛 執行役員 相地政登
 執行役員 近藤徹夫

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 千株	出資比率 %
トヨタ自動車株式会社	4,715	23.96
新日鐵住金株式会社	1,531	7.78
株式会社豊田自動織機	1,360	6.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	753	3.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	555	2.82
第一生命保険株式会社	525	2.67
株式会社三井住友銀行	491	2.50
株式会社三菱東京UFJ銀行	474	2.41
東和不動産株式会社	461	2.35
ダイエフインターナショナルスモールキャップパルユーポトフォリオ	276	1.41

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関

同連絡先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

TEL 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法 電子公告

上場取引所 東京証券取引所、名古屋証券取引所

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

—当社ウェブサイトのご案内—

<https://www.aichi-steel.co.jp/>

当社は、インターネット上にウェブサイトを開設し、会社の幅広い情報を提供しております。公告掲載が必要な場合、ウェブサイトでお知らせします。みなさまのアクセスをお待ちしております。

